

# 日常の小さな困りごととは地域で解決



高齢者だけの世帯の増加に伴い、日常の簡易な支援を必要とする高齢者が増えています。高齢化がさらに進む中、市では地域の支え合いの仕組みづくりを進めています。

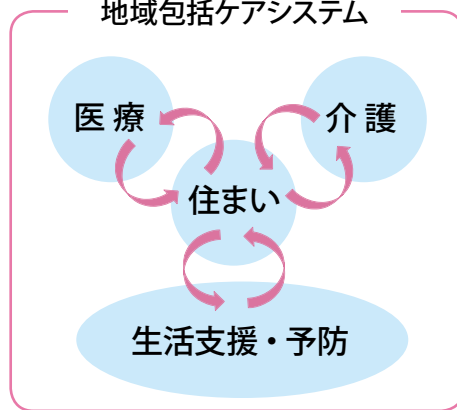
④ 包括ケア推進課 ☎ 34-3296

「地域包括ケアシステム」の実現に向けて

いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる平成37年をめどに、国は地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の整備を推進しています。

市においても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるように、「医療」「介護」「住まい」「生活支援・予防」を一体的に提供できる体制づくりを進めています。

## 地域包括ケアシステム



道悦島地区社協「道悦島応援隊」の取り組み

道悦島地区社会福祉協議会（地区社協）では、今年1月から生活支援サービス「道悦島応援隊」を開始しました。応援隊が行うサービスは、家の清掃やゴミ出しなどの日常生活支援。助けたり助けられたり、地域住民が「お互いさま」の気持ちで支

え合う地域を目指しています。

このような活動は、応援する担い手自身の生きがいや介護予防につながることも、地域力の向上につながることを期待されます。

生活支援サービス立ち上げガイドブックを作成（島田市版）

市では、静岡県立大学との包括連携協定事業により、地域の支え合い活動の立ち上げに役立つガイドブックを作成しました。

生活支援サービス立ち上げのポイントのほか、市内で行われている居場所や見守りなどの取組事例も多数掲載しています。これからの地域活動の参考に、ぜひご活用ください。

## 利用者の声



鳥居 ちか子 さん  
（東町）

「高い場所の掃除を、道悦島応援隊にお願いしました。高齢になって昔のようにできなくなり、応援隊に相談したところ、快く引き受けていただきました。気軽に利用でき、本当に助かりました」